

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

商品を安全にご使用いただくために、必ず守っていただきたい事項です。
商品の注意事項は、商品の説明ページにも記載されていますので、併せてご確認ください。

⚠ 警告



[強制]

商品に異常を感じた場合は、使用を中止し、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室にお問い合わせください。
そのまま使用を続けると、商品の破損や落下など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

スクリーンを操作する際、踏み台や、いすなどに乗って操作したり、身を乗り出したりしないでください。
転倒や転落など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠ 注意



[強制]

シェードがバタつくような風が吹いている場合は、必ず収納してください。
シェードが風にあおられ、人にぶつかってけがをしたり、シェードの生地が破れるなど商品が破損したりするおそれがあります。



[強制]

台風など、強風、突風が予測される際は、予めスクリーンを収納し、ボトムバーとボックス本体をひもで縛る等を行ってください。
スクリーンが風で引き出され、人にぶつかってけがをしたり、シェードの生地が破れるなど商品が破損したりするおそれがあります。



[禁止]

ボックスに乗ったり、はしごをかけたりしないでください。
無理な力をかけると、商品の破損や転落など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

スクリーンを開閉する際、ボトムバーが周囲の窓や壁などにあたらないようご注意ください。
ボトムバーが窓や壁にあたり、キズがつくおそれがあります。

お願い

無理な開閉や乱暴な扱いをしないでください。
商品の破損や故障につながるおそれがあります。

就寝時や外出時は、スクリーンを収納してください。
風などで商品が破損するおそれがあります。

スクリーンに強風を受けた場合は、破断がないことを確認してください。
破断が見られた場合は、ただちに使用を中止し、スクリーンを交換してください。

気温が低い時に長時間スクリーンを出したままにしないでください。
スクリーンの巻き上げが極端に遅くなり収納できなくなるおそれがあります。

降雨や降雪時は、スクリーンを収納してください。
収納しないと、汚れやシミの原因となります。

ボトムバーに水がたまった場合は、ボトムバーを傾けて水を抜いてください。
スクリーンの巻き上げが遅くなったり、最後まで巻き上がらなくなったりするおそれがあります。

スクリーンに雪などが付着して凍結している場合は、解けるまで収納しないでください。
無理に収納すると、商品の破損や故障につながるおそれがあります。

知っていただきたい現象

日常生活の中で『何かおかしいな…』と感じることがある現象も、不具合ではなく商品の特性に関連して発生する場合があります。

ここでは発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しています。

スクリーンの巻き上げについて

スクリーンが雨等で濡れると重くなり、巻き上げが遅くなったり、最後まで巻き上がらなくなったりすることがありますが、故障ではありません。

乾いた布で拭き取り、乾かしてから巻き上げてください。

スクリーン収納速度の個体差について

スクリーンの収納速度は、商品によって多少の違いがあります。
また、気温によりスクリーンの収納速度が変化することがあります。

個体差によるもので不具合ではありません。

2枚仕様の場合は、左右同じものを使用していますが、個体差や固定金具の施工誤差などにより、巻き取りスピードやスクリーンの張り具合に多少の違いがありますが、ご了承ください。

スクリーンの生地について

スクリーン生地特性上、多少の色ムラや横スジ、シワが発生することがあります。
また、スクリーンの生地の織り目は、ボトムバーに対して平行になっていない場合がありますが、商品の性能には影響はありません。

網戸と重ねて使用した場合、「モアレ」という錯覚効果によって、網戸や生地がゆがんで見えるおそれがあります。この現象は、生地特性上避けられません。あらかじめご了承ください。

スクリーンからの光漏れについて

日射角度によってはスクリーンと窓のすき間から光が漏れることがありますが商品の特性上、防ぐことはできません。

寒冷地と雪の種類について

雪おろしの目安の積雪量以下であっても商品が破損する場合があります。
雪の重さは積雪量 1cm 当たり約 3.0kgf/m²で計算しますが、雪の状態により大きく変化します。
湿雪や降雨後の雪は、新雪時に比べ約 3 倍の重さになります。

また、寒冷地では低温や凍結によって機能低下や、操作が困難な場合があります。
低温や凍結の場合の無理な操作は故障の原因となりますので操作は控えてください。
積雪については下記資料を参考に雪の種類に従って早めに雪おろししてください。

【参考】

	新雪	しまり雪 (雪の重みで硬くしまった雪)	ざらめ雪 (氷つぶのようにざらざらした雪)
雪比重	0.3 1cm 当たり約 3.0kgf/m ²	0.5 1cm 当たり約 5.0kgf/m ²	0.7 1cm 当たり約 7.0kgf/m ²

結露について

夜間や早朝など外気温が下がり、外気によって冷やされた商品の温度が露点以下になり、そのまわりの空気が冷たい商品に触れると、空気中の水蒸気が凝縮して結露が発生します。

特に、夜間と日中の気温差が大きい時や、湿度が高い場所、風通しが悪い場所や空気の動きがない場所などでは発生しやすくなります。

エクステリア商品に発生する結露は、周囲環境や立地条件などによる自然現象なので、防ぐことはできません。

ステンレスのさびについて

ステンレスは表面に独自の保護皮膜が形成されます。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っていますが、表面が汚れると酸素との接触が妨げられ、さびが発生することがあります。

特に下記のような場合は、さびが発生しやすくなります。

- 塩素系の洗剤がステンレス部に付着した場合
- 海岸沿いなどの環境において塩分が付着した場合
- 他の物のさびがステンレス表面に付着した場合（もらいさび）など

さびが発生した場合は、台所用クレンザー、市販のステンレス用清掃薬剤などでこすり落としてください。この場合表面にこすりキズがつくことはさけられません。「もらいさび」が落ちない場合は、さびが進行しステンレス自身にさびが生じたものと考えられます。

さびを予防するポイント

- 一旦発生したさびは落とすことが難しいため、日頃から中性洗剤（1～2%の水溶液）で、こまめにお手入れをする。

ガス給湯器などの排気ガスによる腐食について

ガス給湯器などからの排気ガスが、アルミ部材の塗膜のはがれなどの表面異常の原因となることがあります。

ガス給湯器などの排気ガスの成分には、微量ながら硫黄分が含まれている場合があり、この硫黄分が空気中や排気ガスの水分と化学反応を起こして、亜硫酸、硫酸のような強い腐食性の酸を作ることがあります。

これらの酸が塗膜表面に付着すると、塗膜自体を劣化させ、塗膜の下アルミに達し、アルミとの化学反応によって塗膜はがれなどの表面異常を引き起こすことがあります。

また、ガス給湯器や車の排気ガスが直接あたらなくても、周辺の通気が悪く、排気ガスが滞留するような場所にアルミを使用した場合でも塗膜のはがれなどが起こるおそれがあります。

腐食を予防するポイント

- ガス給湯器および車の排気ガスが直接アルミにあたらないようにする。
- 排気口近辺にアルミ製品を設置する場合は、こまめにお手入れし、周辺の通気を確認したうえで使用する。

風について

風の強さ、吹き方は住宅の立地条件（山の高い場所に建っているなど）により異なります。

風速は 10 分間の平均風速、瞬間風速は 3 秒間の平均風速を指します。

風の吹き方は絶えず変動し、瞬間的な強い風などで商品が飛ばされる場合があります。完全に防ぐことはできませんがより安心してお使いいただくため、ネジのゆるみや破損箇所がないかなど、こまめに保守点検してください。

【参考】

平均風速		人への影響
10 ～ 15m/ 秒	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる
20 ～ 30m/ 秒	非常に強い風	何かにつかまっていけないと立っていられない
30m/ 秒以上	猛烈な風	屋外での行動は極めて危険

〔気象庁ホームページ「風の強さと吹き方」より抜粋〕

エクステリア商品・外装材の表面温度について

エクステリア商品や外装材は、屋外に取り付けられているため、長時間直射日光があたると、表面温度が非常に高くなる場合があります。特に、ブラック・ブラウンなど色の濃い商品ほど表面温度が上昇します。直射日光が強い時間帯はやけどをするおそれがありますので、素手や素足で触れないようご注意ください。

薬剤散布について

外装塗装や薬剤散布を行う場合は、その塗料や薬剤が屋根ふき材や本体に付着しないようにしてください。特に、屋根ふき材に付いた場合は、ひび割れなどの原因となります。もし塗料や薬剤が付いてしまった場合は、すみやかに洗い落としてください。

また、路面の雪や氷を溶かす際の融雪剤は、塩化カルシウムを主としており、車などに付くとさびの原因となりますが、アルミも例外でなく長時間そのままにしますと、腐食の原因となります。融雪剤をまかれるときは、商品本体に付かないように、散布をお願いします。また、もし融雪剤が付いてしまった場合は水などをかけて洗い流してください。

ことができます。ご使用方法はご購入されたスポンジの取扱説明書をお読みください。

メラミン樹脂製のスポンジは、樹脂笠木以外には使用しないでください。